

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	26-606
研究の名称	ICU での集中治療を要する重症外傷症例の治療成績に影響する因子解析
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026 年 8 月 19 日
研究の対象	2023 年 4 月から 2026 年 3 月までに外傷治療目的で当院へ救急搬送となり、集中治療室（ICU）で治療を受けた方。
研究の目的	集中治療室（ICU）での治療を必要とするような大きなけが（重症外傷）をされた方の生存率や回復の度合いは、年齢やケガの場所、もともとある持病など、さまざまな原因が複雑に絡み合って決まります。また近年では、実年齢だけでなく、筋肉量の減少（サルコペニア）や、衰え・弱り（フレイル）といった「お体自体の年齢（予備能力）」も、治療の経過に深く関係しているのではないかと注目されています。 本研究は、当院の救命救急センターで治療を受けられた方のデータを分析し、どのようなお体の状態や原因が治療結果に影響を与えているかを明らかにすることを目的としています。この成果により、リスクの高い方を早期に見つけ出し、より一人ひとりに適した治療法を選択できるようになるなど、当院だけでなく全国の外傷診療の質と救命率の向上につなげます。
研究の方法	対象となる方の年齢、けがの原因・場所・重症度、持病やその治療状況、筋肉量や全身の衰えの程度、治療の経過や結果（生存・死亡、入院日数、退院後の状況など）を電子カルテから集めて詳細に検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：電子カルテに記載のある年齢、けがの原因・場所・重症度、持病やその治療状況、筋肉量や全身の衰えの程度、血液検査結果、画像検査結果、治療の経過や結果（生存・死亡、入院日数、退院後の状況）など

個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	＜当院の連絡先＞ 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：救命救急科 研究責任者：茅田 洋之 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2026 年 07 月 10 日（第 1 版）